

令和 6 年度

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

## 2 , 自校の取組の成果と課題

| 区分                 | 成果と課題  |
|--------------------|--|
| ① 暴力行為の状況等         | 警察やこども相談センター等の連携・支援を要する事案は、なかった。   |
| ② いじめの状況等          | 学校全体で、未然防止と早期発見、早期対応に取り組んでいる。いじめを認知した場合、教職員間での情報共有をすすめながら、解消に向けて組織的に対応している。  |
| ③ 小・中学校における不登校の状況等 | 家庭から連絡のないまま、遅刻したり欠席したりする児童が増加している。学級担任をはじめ、多くの教職員で本人と保護者へ働きかけるとともに、区役所の子育て支援、こどもサポートネット、大阪市教育委員会の教育支援センター、登校支援室など関係諸機関と連携して、居場所づくりに努めている。また、学習者用端末も活用している。 |